

振興会議からの 提言

あいさつをする。
お掃除をする。
履き物をそろえる。
お年寄りに親切にする。
人に迷惑をかけない。
困っている人に手を貸す。

責任ある行動を取る。

みんなで助け合い、仲良くする。
社会生活のルールとマナーを守る。
我慢する。

つらくともがんばる。
モノを大切にする。
人のために尽くす。

たくさん心の心を育てる言葉を
忘れてはいけないでしょうか。
この宝物を残していくのは、
私たち大人です。
子どもたちの心を育てていくのは、
私たち大人の努めです。

手を離して、
目を離さず。
目を離して
心を離さず。

地域社会のみなさんへ

- まずは大人がやってみせませんか。ルールとマナー、ボランティア、思いやり、誇りの持てる地域づくり、一生懸命な生き方……。
- 私たちも、積極的に学校に行ってみませんか。そして学校の取組み、子どもたちの学ぶ姿を見てみませんか。
- もっともつと歴史や伝統、文化など、ふるさとの素晴らしさを子どもたちに伝えていきませんか。
- 子どもたちやお年寄りの活躍できる場を、地域の行事にもつとつくってみませんか。活躍できるように工夫してみませんか。
- 私たちの町に生活している子どもたちに、もっと声をかけてみませんか。叱るべきことは叱り、褒めるべきことは褒め、もっと子どもたちと親しくなってみませんか。

お父さん、お母さんへ

○ 父母が、自分から進んであいさつをするようにしましょう。

あいさつは、心のキャッチボール。人と人との付き合いの第一歩であり、あいさつは相手を認めることです。そこから心の通いが始まります。

○ 子どもたちに、家族の一員としての役割を与えましょう。

家族団らんの機会を持ちましょう。家事の分担を決めて、子どもにも手伝いをさせましょう。

○ 自信を持って本気で子どもと向き合しましょう。

叱るべきことはきちんと叱り、褒めるべきことは、恥ずかしがらずに本気で褒めましょう。子育ては、育てながら自分も育つことなのです。

○ 親子で一緒にボランティアや地域の行事に参加し、子どもとともに喜びを味わいましょう。

奉仕することや働くことを通して、役立つ喜び、社会のルールを学ばせましょう。そして豊かな心を育てましょう。

